

## 平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

### 会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	本年度末 平成 26 年 2 月 28 日 現 在	昨年度末 平成 25 年 2 月 28 日 現 在	
名誉会員	66	61	5
永年会員	260	251	9
正 会 員	4379	4408	-29
学生会員	641	757	-116
維持会員	222	228	-6
特別会員	577	591	-14
公益会員	401	423	-22
計	6546	6719	-173

#### ①第 2 回定時総会 (定款第 17 条)

日時 平成 25 年 4 月 19 日  
場所 五反田文化会館第一会議室 参加者数 95 名

#### ②会誌、研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

- 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。
 

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 25 年 3 月 5 日	2013 3	7100
至 平成 26 年 2 月 5 日	2014 2	6800
- 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。
 

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 25 年 3 月 5 日	61 3	2300
至 平成 26 年 2 月 5 日	62 2	2200
- 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。
 

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 25 年 3 月 10 日	29 3	750
至 平成 26 年 2 月 10 日	30 2	700
- 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行した。
 

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 25 年 3 月 10 日	29 3	web における配信
至 平成 26 年 2 月 10 日	30 2	
- メールマガジンを毎月 1 回発行した (配信数 4000)。
- 次の書籍を編集し、発行した。
  - 1) 「試料分析講座 半導体・電子材料分析」(丸善出版)
  - 2) 日本分析化学会 監訳「分析値の不確かさ 一求め方と評価」(丸善出版)
  - 3) 分析化学実技シリーズ 「食品分析」(共立出版)
  - 4) 分析化学実技シリーズ 「ICP 発光分析」(共立出版)
  - 5) 分析化学実技シリーズ 「高分子分析」(共立出版)
  - 6) 分析化学実技シリーズ 「フローインジェクション分析」(共立出版)
  - 7) LC 分析士二段試験解説書 (日本分析化学会)
  - 8) LC/MS 分析士初段試験解説書 (日本分析化学会)
- 教育用 DVD 並びにビデオシリーズの頒布を行った。

#### ③講演会、講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))

- [研究発表会]
- 第 73 回分析化学討論会  
日時 平成 25 年 5 月 18 日～平成 25 年 5 月 19 日  
場所 北海道大学函館キャンパス 参加者数 776 名
  - ASIANALYSIS XII  
日時 平成 25 年 8 月 22 日～24 日  
場所 九州大学馬出キャンパス 参加者数 314 名
  - Separation Sciences 2013  
日時 平成 25 年 8 月 1 日～平成 25 年 8 月 2 日  
場所 東京都立産業技術研究センター 参加者数 72 名
  - 第 62 年会  
日時 平成 25 年 9 月 10 日～平成 25 年 9 月 12 日  
場所 近畿大学東大阪キャンパス 参加者数 1222 名

#### [講習会]

- 第 31 回分析化学基礎セミナー (無機分析編)  
日時 平成 25 年 6 月 25 日・26 日  
場所 飯田橋レインボービル 参加者 54 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 15 回金属分析技術セミナー」  
日時 平成 25 年 7 月 25 日・26 日  
場所 弘済会館 参加者 13 名
- 第 15 回分析化学における不確かさ研修プログラム  
日時 平成 25 年 6 月 27 日・28 日  
場所 日本電気計器検定本社 参加者 19 名
- 第 16 回分析化学における不確かさ研修プログラム  
日時 平成 25 年 10 月 31 日～平成 25 年 11 月 1 日  
場所 日本電気計器検定本社 参加者 12 名
- 第 17 回分析化学における不確かさ研修プログラム  
日時 平成 26 年 3 月 6 日・7 日  
場所 日本電気計器検定本社 参加者 6 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 17 回水中の微量金属分析」  
日時 平成 25 年 10 月 18 日及び平成 26 年 1 月 31 日  
場所 飯田橋レインボービル、家の光会館  
参加者 11 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 12 回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」  
日時 平成 25 年 10 月 17 日・18 日  
場所 飯田橋レインボービル 参加者 10 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 14 回ダイオキシン類分析技術セミナー」  
日時 平成 24 年 10 月 24 日・25 日  
場所 弘済会館 参加者 15 名
- 第 2 回分析化学の基本と安全セミナー  
日時 平成 26 年 2 月 6 日  
場所 飯田橋レインボービル 参加者 61 名
- 第 2 回電池開発のための分析・解析技術講習会—リチウムイオン二次電池の開発の最前線と分析技術の役割—  
日時 平成 26 年 1 月 31 日  
場所 連合会館 参加者 37 名

#### ④調査、研究及び建議 (定款第 5 条(3))

- [JIS]
- 日本規格協会の委託に基づき、JIS Z 2615「金属材料中の炭素定量方法通則」並びに JIS Z 2616「金属材料中の硫黄定量方法通則」改正原案作成委員会を組織して建議のための調査研究を行い、(一財)日本規格協会に提出した。
- [技能試験]
- 事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公開した。
- ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 7 回トレーサビリティと不確かさ理解のための分析技能試験」
  - ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 15 回ダイオキシン類分析」
  - ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 9 回食品成分の分析」
  - ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 9 回プラスチック中有害金属成分の分析」(有害物質規制/RoHS 指令対応)

[標準物質]

これまで開発してきた各種標準物質の保管、管理並びに社会への供給活動を継続して実施した。

また、新たに次の標準物質の開発を行った。

- ㈱科学技術振興機構の研究成果展開事業で採択された課題の成果に基づき放射能分析用大豆認証標準物質（粉末状、低濃度）を開発し、頒布を開始した。
- ㈱科学技術振興機構の研究成果展開事業で採択された課題の成果に基づき放射能分析用牛肉認証標準物質（フレック状）を開発し、頒布を開始した。

[関係団体との協力]

- 関連学術団体等が主催する研究会等に次のとおり協力した。  
国際会議：平成25年8月22日 日中韓シンポジウム（福岡及び長崎）（協賛）ほか13件  
展示会：平成25年9月4日 JASIS2013（後援）ほか2件  
討論会並びに講習会等：平成24年3月6日 第28回近赤外フォーラム（後援）ほか120件
- 次の諸団体に参画し、種々の調査、建議に協力した。  
日本学術会議  
日本化学連合  
化学関係学協会連合協議会  
JABEE/化学分野 JABEE 委員会  
（一社）化学情報協会  
グリーンサステイナブルケミストリーネットワーク  
（一社）日本工学会  
標準物質協議会  
ASIANALYSIS 国際諮問委員会  
Asian Analytical Chemistry Network
- 次の団体に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。  
（一財）日本規格協会  
（一社）日本化学工業協会  
㈱産総研計量標準管理センター  
（一社）日本試薬協会  
（公社）日本セラミックス協会  
（一社）日本環境測定分析協会  
（公財）日本適合性認定協会  
（一社）日本分析機器工業会

⑤研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条(4)）

- 2013年度学会賞を次のとおり授与した。  
角田 欣一君「新しい光導波路分光法の開発と分光化学分析法の環境化学への展開」  
早川 和一君「多環芳香族炭化水素とそのニトロ誘導体類の環境動態と代謝活性化の分析化学研究」  
山口 敏男君「量子ビームを用いる溶液状態分析法の開発とその応用に関する研究」
- 2013年度学会功労賞を次のとおり授与した。  
奥村 稔君「固相を利用した環境水のオンサイト簡易分析法の開発と学会への貢献」  
田口 茂君「膜による固相抽出の分析化学的研究ならびに学会への貢献」  
平出 正孝君「微量成分分析のための高機能性分離媒体の創製と学会への貢献」
- 2013年度技術功績賞を次のとおり授与した。  
浦 信夫君「光分析装置の開発と各種迅速分析への応用」  
落合 周吉君「情報化学創成期における貢献ならびに振動分光の応用開拓」  
丸田 俊久君「資源循環型社会の構築に資するセメント・環境試料の簡便、迅速な分析法の開発と分析法の標準化」
- 2013年度奨励賞を次のとおり授与した。  
青田 新君「マイクロ多相流の基盤技術開発と分析化学的応用」  
遠藤 達郎君「ナノフォトニクスを基盤技術とした新規バイオ分析デバイスに関する研究」  
大平 慎一君「物質の相間移動に基づくオンライン分析デバイスの開発」  
床波 志保君「機能性ナノ・マイクロ空間を利用した

DNA および細菌検出法の開発

水野 初君「単一細胞ダイレクト質量分析法による細胞内小器官代謝解析」

- 2013年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。  
JAIMA 機器開発賞  
谷口 一雄氏「食品・環境試料における放射性セシウムの迅速分析法の開発」  
長谷川 健氏「多角入射分解分光法の原理創出と機器開発」  
CERI 評価技術賞  
戸田 敬氏「マイクロガス分析システムの開発と環境分析への応用」
- 2013年度有功賞を次のとおり授与した（敬称略）。  
村松 隆敏 都丸千代美 池田 重子 平川 真司  
園田 康男 田村 英吉 小林 和敏 谷口加奈恵  
今仲 明夫 宮下 文秀 三上 元重 三並 茂  
田口 利博 三浦 久志 渡辺 義信 藤井 俊二  
須藤 英和 山中 達雄 黒須 清志 山田 知子  
河原 幸春 高橋 武義 石川 昌子 堺 信幸  
加藤 正志 立花 直規 山本 剛 吉岡 勝正  
鈴木 茂 高月 重美 島谷 智 本山 恵三  
長尾 文隆 秋元 昭夫 田中 道昭 潮見 正文  
和田 勉 正能 幸一
- 2012年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。  
論文題名『燃焼火炎の赤外発光分光イメージング』  
著者名：森田成昭・八橋 愛・北川邦行（大阪電気通信大学工学部、名古屋大学大学院工学研究科、名古屋大学エコトピア科学研究所）  
掲載ページ：第61巻第4号、275-279ページ
- 他機関による表彰及び研究助成に対して、会員を候補者として推薦した。

⑥その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第5条(5)）

- 分析士認証事業を行った。  
第1回液体クロマトグラフィー分析士4段試験を行い、合格者の登録を行った。  
第2回液体クロマトグラフィー分析士3段試験を行い、合格者の登録を行った。  
第3回液体クロマトグラフィー分析士2段試験を行い、合格者の登録を行った。  
第4回液体クロマトグラフィー分析士初段試験を行い、合格者の登録を行った。  
第1回 LC/MS 3段試験を行い、合格者の登録を行った。  
第2回 LC/MS 2段試験を行い、合格者の登録を行った。  
第3回 LC/MS 初段試験を行い、合格者の登録を行った。  
第2回イオンクロマトグラフィー分析士初段試験を行い、合格者の登録を行った。

[広報]

本会の活動を記者会見、展示、小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。

[若手交流会]

各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行った。また、分析化学討論会においてポストシンポジウムの企画を行ったほか、若手ポスター賞選考を行った。

[ASIANALYSIS XII 組織委員会]

プログラム編成に関する委員会を開催し、プレナリー講演・招待講演等に関する検討・決定を行った。Asianalysis XII（8月22日～24日、九州大学馬出キャンパス）を開催した。参加者数314名（国外124名、国内190名）、講演総数310件（プレナリー3件、キーノート8件、インバイト46件、コントリビュート108件、ポスター講演145件）であった。

[AACN]

Asian Analytical Chemistry Networkに参加し、そのホームページを運用した。

[研究懇談会]

研究懇談会活動を次のように行った。

- 1) 有機微量分析研究懇談会  
委員会を2回。有機微量分析研究懇談会創立60周年記

- 念大会シンポジウム・第80回有機微量分析研究懇談会・第92回計測自動制御学会力学量計測部会・第30回合同シンポジウムを5月30日～6月1日、岐阜市（長良川国際会議場）で開催（計測自動制御学会力学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛）し、特別講演6件、ポスター発表33件、その他各委員会報告、技術研修会および見学会を行った。本シンポジウムの講演要旨集を電子媒体に変換したDVDを作成（9月）し、会員に配布した。講演会（第62年会9月10日、近畿大学東大阪キャンパス、招待講演1件）、第3回マイクロ電子天びん技術研修会（4月26日、理化学研究所）、第4回マイクロ電子天びん技術研修会（1月24日、理化学研究所）および第2回マイクロ電子てんびんセミナー（座学）（8月2日、キャンパス・イノベーションセンター東京）を開催したほか、会報15号を発行（2月）した。
- 2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会  
運営委員会を6回開催した。研究会開催数：6回（第324～329回、特別講演会、Separation Sciences 2013講演、JAIMAコンファレンスの講習会開催、分析年会での講演会を含む）。又、第19回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会（8月7～9日麻布大学）を開催した。日中韓シンポジウム（福岡・長崎）を主催した。ガスクロマトグラフィー誕生60周年記念事業として特別講演会と表彰を行った。アーカイブ、活動報告、過去の講演要旨集等のWEB掲載を行っている。
- 3) 高分子分析研究懇談会  
開催数：例会4回（第367～370回）。又、第46回・第47回高分子分析技術講習会（工学院大学新宿校舎）「第18回高分子分析討論会」を（9月19日～20日、明治大学駿河台キャンパス（アカデミーコモン））開催した。
- 4) X線分析研究懇談会  
開催数：例会3回（第246～248回）。又、「X線分析の進歩」第44集をアグネ技術センターより出版したほか、講習会「粉末X線分析の実際」を日本結晶学会の共催（7月8～10日、東京理科大学神楽坂校舎）、TXRF国際会議・第49回X線分析討論会（9月23日～9月27日、大阪市立大学杉本町キャンパス）を主催した。
- 5) 分析試薬研究懇談会  
開催数：1回。第62年会において、分析試薬研究懇談会（9月11日、近畿大学、講演2件）を開催し、第4回生涯分析談話会講演会の共催を行った。また、第10回ホスト・ゲスト化学シンポジウムの共催を行った。
- 6) 溶液界面研究懇談会  
開催数：1回。近畿大学で開催された第62年会の「界面・微粒子」セッションの中で、2件の講演（9月10日）を行った。また、分析化学会年会における界面に関するセッションの維持を図った。研究懇談会の活動に関するメール審議を行い、次年度の懇談会運営体制を決定した。
- 7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会  
開催数：12回（第261～272回）。又、第14回特別講演会・見学会（7月19日、日本冷凍食品協会）、第19回LCテクノプラザ（2014年1月23～24日、横浜情報文化センター）、LC-DAYs 2013（11月28～29日、ニューウェルシティ湯河原）を開催した。このほか、関東支部主催第54回機器分析講習会の第2コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」（7月24～26日）、及びJAIMAコンファレンスHPLC講習会（9月5日、幕張メッセ）を担当し、第9回千葉県分析化学交流会（3月26日、東邦大学）に協賛した。
- 8) 化学センサー研究懇談会  
研究懇談会講演会（9月11日、日本分析化学会第62年会、近畿大学にて講演2件）を分析試薬研究懇談会と合同で開催した。また、10月30、31日に東京医科歯科大学（東京）にて開催された国際学会Bio4Apps2013にて講演を行い、今後バイオセンサーを含めて東京医科歯科大学の三林教授とともに国際会議を開催に発展させることを計画することになった。
- 9) 電気泳動分析研究懇談会  
懇談会講演会を1回（9月年会時、東大阪）開催したほか、第33回キャピラリー電気泳動シンポジウム（11月、東京都文京区）を開催した。
- 10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会  
The 7<sup>th</sup> Asia-Pacific Symposium on Ion Analysis (2013 APIA)（11月3～6日、韓国・済州島）、イオンクロマトグラフィー講習会（9月4日、JAIMAコンファレンスと共催）、Separation Sciences 2013 (SS2013)（8月1、2日、東京、GC、HPLC、FIA各研究懇談会と共催）、イオンクロマトグラフィー講習会（9月10日、近畿大学、分析化学会第62年会と共催）、第10回日中韓分析化学シンポジウム（8月23、24日、福岡/長崎、GC、HPLC、FIA、環境分析各研究懇談会と共催）、第30回イオンクロマトグラフィー討論会（11月28、29日、愛知）を開催した。運営委員会を3回開催。第2回IC分析士初段認証試験の実施に協力した。
- 11) フローインジェクション分析研究懇談会  
講演会を4回（18<sup>th</sup> ICFIA（9月15～20日、ポルト、ポルトガル）、Separation Sciences 2013（8月1・20日、東京都立産業技術研究センター）、年会開催時（9月11日、近畿大学）、第51回FIA講演会（11月8日、熊本大））、講習会を1回（JAIMAセミナー6「これでもあなたも専門家―流れ分析編」、9月6日、幕張メッセ）を開催したほか、Journal of Flow Injection Analysis誌の発行（30巻）のための編集委員会を1回（5月17日、函館市）、また褒賞委員会を1回（9月11日、近畿大）開催した。
- 12) 環境分析研究懇談会  
講演会を2回（第23回を9月12日第62年会において、第24回を11月21日東京海洋大学において）開催した。運営委員会を1回開催した。メーリングリストにおいて関連情報を会員各位に適宜提供した。また、2013 CJK Symposium on Analytical Chemistry（8月22日～24日、福岡、佐世保）に日本側懇談会メンバーとして参加した。
- 13) 表示・起源分析技術研究懇談会  
講演会を2回（第9回：7月4日農研機構中央農業総合研究センター、第10回：12月4日東京電機大学東京千住キャンパス）開催した。9月10日第62年会にて講演会を開催した。運営委員会を2回開催した。安定同位体比室間試験実行グループと共催で第1回炭素・窒素安定同位体比室間試験を実施した。
- 14) レアメタル分析研究懇談会  
9月10日に講演会並びに運営委員会を第62年会会場（近畿大学）にて開催した。
- 15) 熱分析研究懇談会  
講演会を1回（9月10日に第62年会会場において）開催した。また第23回日本MRS年次大会（12月9～11日、横浜市開港記念館）のシンポジウムS「新しい分析・評価技術―材料と環境への適用」に協力した。JA-SIS2013における講習会、JAIMAセミナー5「これでもあなたも専門家―熱分析編」を開催した。
- 16) 溶液反応化学研究懇談会  
講演会並びに運営委員会を5月18日の第72回分析化学討論会（北海道大学）で開催した。
- 17) 受託分析研究懇談会  
2013年12月5日（木）、TKP浜松町ビジネスセンターカンファレンスルーム8Bにて「受託分析の将来と課題」と題し第一回セミナー及び情報交換会を開催した。参加者は30名であった。この他、運営委員会を4回開催した。

[支部]

2013年度の支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

1. 役員を選任

支部長	黒澤 隆夫
副支部長	宇都 正幸（次期支部長） 久万 健志
参与	菖蒲 明己 石田 真也 石本 裕
	伊藤 純一 伊藤八十男 小澤 幸男 片岡 正光

片山 則昭 後藤 良一 多賀 光彦 竹中 淳夫  
樽井 敏三 中野 益男 那須 淑子 乗木新一郎  
長谷部 清 松永 勝彦 松久 喜一 三浦 敏明  
横澤 龍朗 吉田 仁志

監 査 大澤 雅俊 森田みゆき  
庶務幹事 蛸崎 梯司 村井 毅  
会計幹事 佐々木胤則 吉村 昭毅  
幹 事 石田 晃彦 板橋 豊 伊藤 慎二

上野 貢生 大津 直史 加藤 昌子 川口 俊一  
菅 正彦 喜多村 昇 工藤 英博 蔵崎 正明  
齋藤 健 堺井 亮介 坂入 正敏 嶋津 克明  
神 和夫 鈴木 智宏 高木 英利 高橋 徹

高橋 英明 田中 俊逸 田邊 博義 谷 博文  
田原るり子 千葉 真弘 坪井 泰之 敦賀 昇  
渡慶次 学 富田 恵一 豊田 和弘 中田 耕  
中谷 暢丈 永洞真一郎 中村 博 西村 一彦

平間 祐志 古月 文志 福嶋 正巳 藤井 清志  
藤吉 亮子 古崎 睦 松井 宏之 南 尚嗣  
諸角 達也 山田 幸司 叶 深

## 2. 研究発表会

1) 夏季研究発表会 (共催): 7月20日, 北見工業大学で  
開催, 一般講演131件, 特別講演2件 (参加者208  
名)。また懇親会を行った (参加者46名)。

2) 化学教育研究協議会 (共催): 11月9日, 北大院環境  
科学研究所で開催, 講演1件, 分析化学若手教育研究  
者による話題提供, 自由討論, 懇親会を行った (参加  
者58名)。

3) 冬季研究発表会 (共催): 1月28-29日, 北大学術交  
流会館で開催, 研究発表192件, 特別講演1件, 懇親  
会を行った (参加者41名)。

## 3. セミナー

1) 第29回分析化学緑陰セミナー: 10月19日-20日,  
ビューサイドホテル雪の屋 (旭川市) にて開催, 講演4  
件, ポスター講演10件, 懇親会を行った (参加者44  
名)。

2) 特別公開シンポジウム (公開セミナー): 11月7日,  
北大院環境科学研究所で開催, 講演2件 (参加者20名)。

3) 第49回氷雪セミナー: 1月11-12日, かんぼの宿小  
樽で開催, 講演4件, 懇親会を行った (参加者26名)

## 【東北支部】

### 1. 役員の選任

支 部 長 我妻 和明  
副支部長 佐藤 健二 山下 幸和

参 与 秋葉 健一 阿部 重喜 石井 一  
宇野原信行 大関 邦夫 大類 洋 荻野 博

長 哲郎 小田嶋次勝 後藤 順一 斎藤 紘一  
佐藤 允美 鈴木 信男 玉木 洋一 南原 利夫

広川吉之助 山崎 慎一 四ツ柳隆夫  
監 事 大江 知行 糠塚いそし

庶務幹事 水口 仁志  
会計幹事 珠久 仁

幹 事 赤坂 和昭 芦野 哲也 安齊 順一  
壹岐 伸彦 伊藤 徹二 井上 亮 岩田 吉弘

遠藤 昌敏 大野 賢一 尾形 健明 小川 信明  
押手 茂克 柏倉 俊介 上條 利夫 彼谷 邦光

菊地 洋一 北川 文彦 北爪 英一 熊澤 徹  
後藤 貴章 佐藤 勝彦 佐藤 雄介 猿渡 英之

塩田 浩 志村 清仁 鈴木 敏重 高貝 慶隆  
高橋 成周 鶴岡 博章 寺前 紀夫 照井 教文

中川 公一 中村 重人 西澤 精一 西澤 松彦  
橋本 幹雄 平野 愛弓 平山 和雄 福島美智子

福村 裕史 藤原 一彦 星 友典 星野 仁  
細野 長悦 末永 智一 松永 英之 眞野 成康

村本 光二 盛田 伸一 山田 正俊 和久井喜人  
渡辺 忠一

### 2. 研究発表会

1) 平成25年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東  
北支部70周年記念国際会議 (共催): 9月28-30日,  
東北大学川内北キャンパスにて開催, 1,388名の参加が

あった。

### 3. セミナー

1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー2013 (主  
催): 3月16日, 東北大学金属材料研究所にて開催, 招  
待講演2件を行い, 46名の参加があった。

2) 平成25年度東北支部若手交流会 (主催): 7月19-  
20日, 秋保岩沼屋にて開催, 招待講演4件, ポスター  
講演29件を行い, 63名の参加があった。

3) H25年度第2回油化学セミナー (協賛): 8月23日,  
弘前大学文京町キャンパスにて開催, 招待講演4件を  
行い, 76名の参加があった。

4) みちのく分析科学シンポジウム「MICHINOKU Sym-  
posium on Analytical Sciences」(主催): 9月28日, 東  
北大学川内北キャンパスにて開催, 招待講演8件を  
行った。

5) 材料評価技術セミナー (協賛): 7月19日, 岩手県工  
業技術センターにて開催, 138名の参加があった。

6) パイオアナリシス2013 (主催): 11月2日, 東北大  
学大学院薬学研究科にて開催, 招待講演3件を行い,  
37名の参加があった。

7) 分析化学と化学分析の青森フォーラム2013 (主催):  
11月28日, 弘前大学大学院理工学研究科にて開催, 招  
待講演3件を行い, 30名の参加があった。

## 【関東支部】

### 1. 役員の選任

支 部 長 岡田 哲男  
副支部長 丹羽 修 (次期支部長) 早下 隆士

川田 哲 望月 直樹  
参 与 赤岩 英夫 梅澤 喜夫 小熊 幸一

大橋弘三郎 楠 文代 合志 陽一 酒井 馨  
澤田 清 渋川 雅美 菅原 正雄 杉谷 嘉則

高田 芳矩 高村喜代子 田中 龍彦 角田 欣一  
中澤 裕之 中村 洋 二瓶 好正 平井 昭司

不破敬一郎 藤原 鎮男 藤原祺多夫 保母 敏行  
前田 瑞夫 矢野 良子 山崎 素直 山根 兵

綿拔 邦彦  
監 事 梅香 明子 鈴木 康志

常任幹事 荒井 健介 伊藤 里恵 上原 伸夫  
大石 昌弘 岸岡 真也 国村 伸祐 小谷 明

櫻井 裕樹 敷野 修 鈴木 康弘 高坂 正博  
谷 和江 谷合 哲行 津越 敬寿 中川 沙織

中込 和哉 中西 淳 並木 健二 西垣 敦子  
橋本 剛 本田 俊哉 松崎 彩子 林 英男

安田 純子 山口 央 吉本敬太郎  
支部幹事 青木 寛 片山 建二 北辻 章浩

熊谷 浩樹 齋藤 和憲 坂元 秀之 佐藤 香枝  
塚原 剛志 辻 典宏 野村 文子 保倉 明子

### 2. 研究発表会

第27回新潟地区部会研究発表会: 9月27日, 新潟大学駅  
南キャンパス「ときめいと」において開催, 特別講演2件,  
一般講演5件, 情報交換会を行った。

### 3. 講習会

1) 第54回機器分析講習会: 第1コース, 6月20-21  
日, 第2コース, 7月24-26日, 第3コース, 11月8  
日, 日立ハイテクサイエンス, 慶應義塾大学, 島津製  
作所で開催した。

2) 第21・22回分析化学基礎実習講座: 8月28-30  
日, 東京理科大学, 2月13-14日, パーキンエルマー  
ジャパンで各々開催した。

### 4. 講演会

1) 第10回茨城地区分析技術交流会: 11月29日, いば  
らぎ量子ビーム研究センターにおいて開催, 特別講演3  
件及びポスターセッションおよび情報交換会を行った。

### 5. セミナー

1) 平成25年度分析化学会関東支部若手交流会: 6月8  
日-6月9日, 晴海グランドホテルで開催した。

2) 新世紀賞・(新人賞) 講演会・新年交流会: 1月8日,  
秋葉原ダイビル18階(株)日立製作所において開催。

6. 各県分析化学交流会

1) 第9回千葉県分析化学交流会：3月26日，東邦大学理学部において開催

7. 支部ニュースの発行

関東支部ニュース第24号を発行した。

【中部支部】

1. 役員を選任

支部長	大谷 肇				
次期支部長	井村 久則				
副支部長	遠田 浩司	手嶋 紀雄			
顧問	石井 大道	板谷 芳京	河口 廣司		
木羽 敏泰	佐々木与志実	鈴木 正巳	田中 元治		
柘植 新	寺田喜久雄	野村 俊明	野村 昇		
舟橋 重信	本浄 高治	三輪 智夫	村田 旭		
山寺 秀雄					
参与	上田 一正	上田 穰一	太田 清久		
酒井 忠雄	田口 茂	永長 幸雄	中村 俊夫		
原 稔	平出 正孝	山田 真吉	湯地 昭夫		
吉村忠与志					
監事	北川 邦行	樋上 照男			
庶務幹事	飯國 良規				
会計幹事	加地 範匡				
常任幹事	江坂 幸宏	大橋 芳明	小谷 明		
加賀谷重浩	勝又 英之	加藤 亮	熊澤 茂則		
巽 広輔	田中 智一	永谷 広久	松宮 弘明		
幹事	石田 康行	植松 宏平	内村 智博		
宇野 文二	太田 一徳	甲斐 穂高	徳高 義勝		
香川 信之	金子 聡	金子美智代	儀賀 義勝		
北出 和久	金 継業	栗原 誠	健名 智子		
小森 康生	齊藤 彰良	篠原 直行	妹尾 健吾		
高木 秀夫	竹内 豊英	田中 勉	柘植 明		
丹羽 啓誌	服部 寛和	坂東 篤	肥田 宗政		
藤永 薫	藤本 忠蔵	藤原 正之	細川 智司		
牧 輝弥	間中 淳	安井 隆雄	安井 孝志		
山形 茂	山腰 亮子				

2. 研究発表会

1) 第44回中部化学関係学協会支部連合秋季大会：11月2～3日，静岡大学浜松キャンパスで開催，特別討論会講演8件（招待講演4件，依頼講演4件），一般講演29件を行った（参加者約60名）。

3. 講演会

1) 北陸地区講演会：7月12日，富山大学工学部で開催，講演2件を行った（参加者128名）。

2) 信州地区講演会：10月4日，信州大学理学部で開催，講演2件を行った（参加者52名）。

3) 愛知地区講演会：10月25日，名古屋大学東山キャンパスで講習会と併せて開催，講演3件および施設見学を行った（参加者62名）。

4. 講習会

1) 第23回基礎及び最新の分析化学講習会：10月24～25日，名古屋大学東山キャンパスで開催，講義7件を行った（参加者71名）。

5. セミナー

1) 第32回分析化学中部夏期セミナー：8月30日～31日，休暇村能登千里浜コンベンションセンターで開催，招待講演2件，依頼講演1件，新製品紹介講演2件，ポスター発表46件を行った（参加者87名）。

2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第13回高山フォーラム：11月15～16日，高山市図書館，お宿山久で開催，討論，ポスター発表63件を行った（参加者75名）。

【近畿支部】

1. 役員を選任

支部長	加納 健司				
次期支部長	大堺 利行				
前支部長	藤田 芳一				
副支部長	山本 雅博	杉山 雅人			
監事	荒川 隆一	萩中 淳			
庶務幹事	中口 讓	諏訪 雅頼			
会計幹事	吉田 裕美	永井 秀典			

参与	池田 重良	池田 篤治	池田 昌彦		
市村 彰男	宇野 豊三	大井 尚文	岡 正太郎		
小川禎一郎	垣内 隆	木原 壯林	木村 優		
日下 讓	小島 次雄	佐伯 正夫	佐藤 優憲		
庄野 利之	千田 貢	田中 信男	田中 久		
田中 稔	千熊 正彦	辻 治雄	寺部 茂		
中川 照真	中原 武利	原 正	藤永 太郎		
藤原 英明	穂積啓一郎	堀 智孝	増田 嘉孝		
松井 正和	松下 隆之	八尾 俊男	渡辺 巖		
渡會 仁					

常任幹事	石濱 泰	小堤 和彦	北隅 優希		
紀本 岳志	久保 公二	杉原 崇康	辻 幸一		
中原 佳夫	中林 安雄	西野 智昭	野村 聡		
長谷川 健	藤嶽 暢英	細矢 憲	松岡 康子		
村松 康司	山口 敬子				

幹事	浅川 大地	小豆畑利夫	足立 吟也		
池川 繁男	石井 裕子	石田 正登	糸 博之		
岩本 仁志	上田 啓太	上原 章寛	宇田 亮子		
梅谷 重夫	大石 晴樹	大内 幹雄	大塚 浩二		
岡林 義人	岡本 昌彦	尾崎 幸洋	尾関 徹		
小山 宗孝	掛樋 一晃	糟野 潤	門 晋平		
柄谷 肇	河合 潤	川崎 英也	河田 聡		
河野 宏彰	川元 達彦	岸本 芳久	菊地 和也		
北出 達也	木村 恵一	久保 拓也	熊谷 哲		
倉内 奈美	黒田 義弘	小池 亮	小畑 俊嗣		
小林 典裕	齊藤 恵逸	坂本 英文	佐々木隆之		
佐藤 卓史	椎木 弘	澁谷 康彦	下山 昌彦		
白井 理	白石 晴樹	末吉 健志	杉山 裕子		
須志田一義	鈴江 崇彦	鈴木 茂生	宗林 由樹		
高木 達也	高橋 弘樹	竹田さほり	谷口 一雄		
民谷 栄一	茶山 健二	塚越 一彦	塚原 聡		
都築 英明	角井 伸次	壺井 基裕	津村 ゆかり		
寺田 靖子	土井 光暢	土江 秀和	遠山 恵夫		
床波 志保	中井 亨	長岡 勉	中澤 隆		
中島 陽一	中田 邦彦	中西 和樹	中山 茂吉		
西 直哉	野崎 敏則	野村 聡	濱地 格		
張野 宏也	東 昇	久本 秀明	福士 恵一		
藤居 義和	藤森 啓一	藤原 学	堀田 弘樹		
前田 耕治	前田 拓巳	前田 初男	松尾 修司		
松田十四夫	松村 竹子	松本 明弘	丸尾 雅啓		
三木功次郎	水谷 文雄	三田村邦子	三戸彩絵子		
三野 芳紀	宮道 隆	向井 浩	村上 正裕		
森内 隆代	森澤 勇介	森田 成昭	守安 正恭		
矢坂 裕太	矢嶋 摂子	安川 智之	山垣 亮		
山崎 秀夫	山田 悦	山田 隆	山田 裕之		
弓削 是貴	横井 邦彦	脇田 慎一	和田 豊仁		

2. 講演会

1) 第1回支部講演会：4月12日，大阪科学技術センターで開催，講演3件を行った。

2) 第33回石橋雅義先生記念講演会（共催）：4月27日，京都大学百周年時計台記念館で開催，講演2件を行った。

3) 第2回支部講演会：12月9日，大阪科学技術センターで開催，講演2件を行った。

3. 講習会

1) 第60回機器による分析化学講習会・その1：5月10日，(株)堀場製作所で開催，講演5件，パネルディスカッション，見学会を行った（受講者63名）。

2) 第60回機器による分析化学講習会・その2：7月26日，大阪科学技術センターで開催，講演6件，を行った（受講者48名）。

3) 第1回基礎分析化学講習会：12月5日，(株)島津製作所で開催，講義を行った（受講者15名）。

4. セミナー

1) 第7回平成夏期セミナー：8月2,3日，花王(株)有田研修所で開催，講演5件，ポスターセッション，パネルディスカッションを行った（参加者85名）。

5. 支部ニュースを3回発行した。

## 【中国四国支部】

### 1. 役員を選任

支 部 長	北條 正司				
次期支部長	伊藤 一明				
副支部長	田中 秀治	若林 茂夫			
事務局長	藤原 照文				
支部参与	池田 早苗	今井 嘉彦	岩知道 正		
	大島 光子	奥村 稔	小倉興太郎	木ト 光夫	
	木曾 義之	熊丸 尚宏	下村 滋	善木 道雄	
	田頭 昭二	竹味 弘勝	出口 正一	中野 惠文	
	林 康久	平田 静子	升島 努	真鍋 敬	
	宮田 晴夫	本仲 純子	本水 昌二	森田 秀芳	
	山崎 恒博				
支部監事	岡 秀行	廣川 健			
庶務幹事	石坂 昌司	一色 健司	岡本 泰明		
	島崎 洋次	竹内 政樹			
会計幹事	竹田 一彦	西本 潤			
常任幹事	朝日 剛	石井 孝浩	石徳 武		
	泉 雅典	今井 昭二	内嶋 茂	春日 弘夫	
	勝 孝	金田 隆	紙谷 浩之	北出 哲朗	
	児玉 竜二	島田 健	清家 泰	高柳 俊夫	
	田中 俊行	中山 雅晴	名郷 洋信	西 博行	
	早川慎二郎	引野 健治	藤原 薫	村上 良子	
支部幹事	山岡 和則	横山 崇	吉屋 晴夫	和田 修治	
		浅野 比	新名 龍彦	受田 浩之	
	榎本 秀一	尾上 晃一	片岡 洋行	川口 浩	
	川村 邦男	佐竹 弘	高橋 嘉夫	武安 伸幸	
	谷村 俊史	鶴田 泰人	中田 健一	永阪 文惣	
	服部喜久男	樋口 浩一	樋口 徹憲	藤原 勇	
	瀧脇 雄介	宝来 佐和子	前川 達治	森本 稔	
	門木 秀幸	藪谷 智規	山崎 重雄	山下 浩	
	山本 孝	横田 宣夫	吉岡 徹	吉田 賢司	
	吉本 誠				

### 2. 研究発表会

- 1) 2013年日本化学会中国四国支部大会（共催）：11月16・17日，広島大学東広島キャンパス（東広島市）にて開催。（参加者528名，懇親会81名）。
- 2) 廃棄物・資源循環研究会平成25年度公開シンポジウム（後援）：9月27日，鳥取県立図書館（鳥取市）にて開催した。（参加者60名）。
- 3) The 2<sup>nd</sup> International Symposium on Green Science（後援）：3月21日，高知大学朝倉キャンパスメディアホール（高知市）で開催。講演9件および情報交換会を行った。

### 3. 講演会

- 1) 中国四国支部分析化学講演会：3月8日，岡山大学理学部本館第11講義室（岡山市）で開催。講演2件および情報交換会を行った。
- 2) 岡山地区講演会（岡山地区分析技術懇談会と共催）：3月6日，岡山大学理学部で開催。講演1件，研究発表10件および情報交換会を行った。（参加者50名）。
- 3) 宇部地区講演会（宇部地区分析化学研究会と共催）：1月15日，山口大学工学部で開催。講演3件および懇親会を行った。
- 4) 周南地区講演会（周南コンピナート分析研究会と共催）：12月11日，東ソークラブ大会議室（周南市）で開催。講演3件および懇親会を行った。（参加者50名）。
- 5) 徳島地区講演会（徳島化学工学懇話会と共催）：12月13日，徳島大学工学部（徳島市）で開催。講演3件および懇親会を行った。
- 6) 鳥取地区講演会（鳥取総合分析研究懇談会と共催）：3月16日，倉吉西高等学校にて講演2件を行った（参加者48名）。1月11日，鳥取大学VBL棟にて講演2件および研究発表3件を行った。（参加者50名）。
- 7) 高知地区講演会（高知地区分析技術懇談会と共催）：12月14日，高知大学理学部（高知市）で開催。講演2件および情報交換会を行った。

### 4. 講習会

- 第50回分析化学講習会：8月1・2日，愛媛大学理学部

キャンパス（松山市）で開催。「科学の基盤としての分析化学」の主題で，特別講演2件，セミナー4件，実習8種類，ショート実習2件，機器相談会および情報交流セミナー・情報交換会を行った。（受講者43名）。

### 5. セミナー

第19回中国四国支部分析化学若手セミナー：8月31日・9月1日，国立淡路青少年交流の家（南あわじ市）において開催。依頼講演1件，ポスターショートプレゼンテーション，ポスター発表，および懇親会を行った。（参加者43名）。

## 【九州支部】

### 1. 役員を選任

支 部 長	原田 明				
次期支部長	松井 利郎				
副支部長	吉留 俊史	田嶋 晴彦			
参 与	飯盛喜代春	石黒 慎一	岩崎 正武		
	大倉 洋甫	大森 保	箴島 豊	鎌田 薩男	
	合屋周次郎	小林 宏	財津 潔	竹田津富次	
	田端 正明	出口 俊雄	増田 義人		
監 査	甲斐 雅亮	澤津橋徹哉			
庶務幹事	石岡 寿雄				
会計幹事	磯田 美紀				
常任幹事	新垣 雄光	宇都宮 聡	大島 達也		
	川上 健次	河済 博文	下田 満哉	高椋 利幸	
	竹中 繁織	新留 康郎	西田 正志	浜瀬 健司	
	山口 敏男	和田 光弘			
幹 事	安藤 功	井倉 則之	池上 天		
	石川 洋哉	伊藤 潔	井上 高教	井原 敏博	
	今坂藤太郎	今任 稔彦	伊与田憲雄	岩永 達人	
	内田 耕次	内海 英雄	大浦 博樹	大木 章	
	王子田彰夫	大渡 啓介	大庭 義史	岡上 吉広	
	片山 佳樹	加藤 祐子	梶島 力	梶島 正美	
	神崎 亮	岸川 直哉	喜納 兼勇	木下 将和	
	蔵脇 淳一	栗崎 敏	黒木 広明	黒田 直敬	
	呉 行正	古賀 実	児玉谷 仁	財津 慎一	
	境 幸夫	笹木 圭子	佐藤 博	塩路 幸生	
	柴田 孝之	城 昭典	清 悦雄	宗 伸明	
	高舘 明	高橋 浩司	田口 博幸	竹原 公	
	立木 武	田中 充	谷口 功	戸田 敬	
	富安 卓滋	長崎 典之	長澤 満明	中島憲一郎	
	中嶋 直敏	中島 俊男	中島 常憲	中園 学	
	中武 貞文	中野 幸二	中山 守雄	能田 均	
	野口 英行	野間 誠司	馬場 由成	原口 浩一	
	原田 雅章	肥後 盛秀	前田 明広	増田 寿伸	
	又吉 直子	松岡 信明	松田 賢士	松田 直樹	
	松野 康二	松本 清	満尾 良弘	満塩 勝	
	宮島 徹	村田 正治	森 健	安田みどり	
	柳 雅之	山口 英敬	山口 政俊	山田 淳	
	横下 正彦	横山 拓史	吉塚 和治	吉田 亨次	
	吉田 秀幸	吉田 烈	吉田 祐一	吉村 和久	
	脇田 久伸				

### 2. 研究発表会

- 1) 第50回化学関連支部合同九州大会（共催）：7月6日，北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表4件を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。

### 3. 講演会

- 1) 第26回九州分析化学若手の会・春の講演会（主催）：5月25日，九州大学箱崎キャンパス国際ホールで開催。
- 2) 九州支部講演会・見学会（主催）：11月8日，九州大学筑紫地区総合研究棟並びに（一財）化学物質評価研究機構久留米事業所で開催。
- 3) 第33回溶液化学国際会議プレシンポジウム（共催）：7月6日，福岡大学中央図書館多目的ホールで開催。
- 4) 第51回フローインジェクション分析講演会（共催）：11月8日，熊本大学黒髪南キャンパスで開催。

### 4. 講習会

- 1) 第54回分析化学講習会（主催）：8月7～9日，九州大学伊都キャンパス，福岡市産学連携交流センターで開催。

5. セミナー  
1) 第31回九州分析化学若手の会・夏季セミナー（主催）：7月26日～27日，長崎ホテル清風で開催。  
6. 支部ニュース  
支部ニュース第28号（7月）及び第29号（2月）を発行。

## 平成26年度事業計画書

（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

- ①通常総会の開催（定款第17条）  
第3回定時総会を下記のとおり行う。  
日時 平成26年5月16日（金）11時より  
場所 五反田文化会館（東京都品川区西五反田1-32-2）  
参加予定者数150人。
- ②会誌，研究報告及び資料の刊行（定款第5条(1)）
- 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。  
2014年第3号～2015年第2号 毎月1回，5日に発行（各号A4判，130ページ）。発行部数6800
  - 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。  
第63巻第3号～第64巻第2号を毎月1回，5日に発行（各号A4判，72ページ）。発行部数2000
  - 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行する。  
Vol. 30, No. 3～Vol. 31, No. 2を毎月1回，10日に発行（各号A4判，136ページ）。発行部数700
  - 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行する。  
Vol. 30, No. 3～Vol. 31, No. 2を毎月1回発行（webのみによる無料公開）。
  - メールマガジンを発行する。
  - 「試料分析講座」，「分析士試験問題の解説」等の書籍を出版する。
- ③講演会，講習会及び研究会の開催（定款第5条(2)）  
各支部並びに懇談会が主催するものは別に記載する。  
[研究発表会]  
• 第74回分析化学討論会を行う。  
日時 平成26年5月24日（土）・25日（日）  
場所 日本大学工学部（郡山市田村町徳定字中河原1）  
参加予定者数800，演題数500  
• Separation Sciences 2014（安心安全と快適を支える分離と検出の科学）を行う。  
日時 未定  
場所 未定 参加予定者数100，演題数70  
• 第63年会を下記のとおり行う。  
日時 平成25年9月17日（水）～19日（金）  
場所 広島大学東広島キャンパス（東広島市鏡山） 参加予定者数1300人 演題数800  
[講習会] 参加予定者数：合計500名  
予定テーマ  
水中の微量金属成分分析技術セミナー  
金属分析技術セミナー  
ダイオキシン類分析技術セミナー  
セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー  
土壌分析技術セミナー  
プラスチック中有害金属成分の化学分析技術セミナー  
分析化学基礎セミナー  
分析化学における不確かさ研修プログラムセミナー  
その他
- ④調査，研究及び建議（定款第5条(3)）  
[JIS]  
日本規格協会の公募に応募して制定改正を行う。  
[技能試験] 参加予定試験所数：合計800社  
ISO/IEC17043に基づく分析試験所技能試験を行う。  
予定テーマ  
ダイオキシン類成分分析  
プラスチック中有害金属成分の分析  
トレーサビリティと不確かさの理解度を確保する分析  
その他  
[標準物質]

これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を継続して実施する。また、在庫切れ品の補給と放射能関係の新規標準物質の開発を行い社会への供給活動を行う。

[関連団体との協力]

- ・関連学協会並びに団体の講演会、講習会及び研究会の開催を共催又は協賛する。
  - ・学会協議協力団体としての活動を行う。
  - ・グリーンサステイナブルケミストリーネットワークの活動に協力する。
  - ・化学連合参加団体としての活動を行う。
  - ・関連団体からの要請に基づき委員を派遣して JIS/ISO などの各種規格の立案等に協力する。
- [教育用 DVD]
- ・現在頒布中の教育用ビデオを発展させた DVD 教材の開発のために作業を行う。

#### ⑤研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条(4)）

- ・学会賞、学会功労賞、技術功績賞、奨励賞、有功賞、「分析化学」論文賞並びに先端分析技術賞を下記のとおり表彰する。
  - 学会賞（3名以内）
  - 学会功労賞（5名以内）
  - 技術功績賞（3名以内）
  - 奨励賞（5名以内）
  - 有功賞（50名程度）
  - 「分析化学」論文賞（1名）
  - 先端分析技術賞（3件以内）
- ・他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

#### ⑥その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条(5)）

- ・分析士認証試験を次のとおり行う。
  - 液体クロマトグラフィー分析士認証試験 初段～五段の各段位
  - LC/MS 分析士認証試験 初段～四段の各段位
  - イオンクロマトグラフィー分析士 初段～二段
- ・分析士会を開催して講演会等の活動を行う。
- ・アジアの分析化学者との連携をはかるために Asian Analytical Chemistry Network のホームページを運用する。
- ・本会の活動並びに斯学術・技術の重要性をホームページ、各種展示、冊子の発行、記者会見、展示などを通じて広報する。
- ・若手交流会の活動を次のとおり行う。
  - 若手国際交流事業について立案するほか、各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。また、分析化学討論会においてポストシンポジウム企画および若手ポスター賞選考を行う。
- ・各研究懇談会の活動を次のとおり行う。
  - 1) 有機微量分析研究懇談会
    - 委員会を2回、第81回有機微量分析研究懇談会（計測自動制御学会・力学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛）6月東京都目黒区（東京工業大学デジタル多目的ホール他）、講演会（第63年会会期中）、第5回マイクロ電子天びん技術研修会、および第3回マイクロ電子天びんセミナー（座学）を開催するほか、会報15号（2014年3月）を発行する。
  - 2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会
    - 例会を数回、見学会、特別講演会、講習会（実習付）を開催する。例会の中で基礎講座講習を行う。地方での研究会活動を行う。セパレーションサイエンス2014を主催する。日中韓シンポジウムの開催（中国）に協力する。JAIMA コンファレンスで講習会を実施する。ガスクロマトグラフィー誕生60周年事業としてアーカイブを作成する。講習会用テキストを整備する。懇談会活動の過去ログをホームページで公開する。運営委員会を隔月で開催する。
  - 3) 高分子分析研究懇談会
    - 例会を6回、高分子分析技術講習会を2回、第19回高分子分析討論会を開催する。

- 4) X線分析研究懇談会
  - 例会を数回、第50回X線分析討論会、X線分析講習会を開催するほか、「X線分析の進歩」を出版する。
- 5) 分析試薬研究懇談会
  - 第63年会での講演会と幹事会および、第11回ホスト・ゲスト化学シンポジウムでの招待講演を開催する。
- 6) 溶液界面研究懇談会
  - 講演会、懇談会を各1回（第63年会会期中）開催するほか、通信による情報交換を行う。また、年会において界面に関するセッションを継続して開催できるよう、年会実行委員会への働きかけを行う。
- 7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会
  - 運営委員会を11回、例会を12回（うち1回は年会時に開催）、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回、第20回LCテクノプラザ、LC-DAYS 2014を開催する。Separation Sciences 2014を他の分離科学関係研究懇談会と協力して開催し、関東支部機器分析講習会第2コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」、JAIMA セミナーにおけるHPLC講習会などを支援する。LC分析士4段試験解説書、LC分析士3段試験解説書、LC分析士2段試験解説書、LC/MS分析士3段試験解説書、LC/MS分析士2段試験解説書、LC/MS分析士初段試験解説書の各出版に向け、それぞれ2日間の査読会を実施する。
- 8) 化学センサー研究懇談会
  - 懇談会講演会（9月、分析化学会年会期間中）を開催するほか、バイオセンサー関連団体と共同で国外で化学センサー・バイオセンサー関連シンポジウムを開催する。また、センサーに関する案内や資料を随時配付する。
- 9) 電気泳動分析研究懇談会
  - 講演会を1回（分析化学会年会会期中）開催するほか、第34回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE 2014）（12月、京都）を開催する。またシンポジウムの要旨集アーカイブをホームページ上で公開するほか、電気泳動分析研究懇談会賞の設立を進める。
- 10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会
  - イオンクロマトグラフィー（IC）講習会（9月、JAIMA コンファレンスと共催）、Separation Sciences 2014（SS2014、協力）（9月、東京）、IC講演会（9月、分析化学会第63年会と共催、広島大学）、日中韓分析化学シンポジウム（GC、HPLC、FIA、環境分析各研究懇談会と共催、8月中国）、第31回IC討論会（11月、東京）を開催する。運営委員会を3回開催する予定。IC分析士認定試験問題作成と試験の実施に取り組む。
- 11) フローインジェクション分析研究懇談会
  - 委員会を1回、「Journal of Flow Injection Analysis」（JFIA）誌編集委員会を2回、講演会（Separation Sciences 2014（9月ごろ、協賛）、9月・第63年会会期中（広島大学）、11-12月・19th ICFIA（福岡））を開催するほか、JFIA誌を2回（6月、12月）発行する。
- 12) 環境分析研究懇談会
  - 講演会を3回（6月、第63年会会期中、11月）、幹事会（第63年会会期中）を1回開催する。日中韓分析化学シンポジウムを、日本側組織としてGC、HPLC、FIA、IC各研究懇談会と共催する（瀋陽、中国、8月）。また適宜メーリングリストを用いた情報交換を行う。
- 13) 表示・起源分析技術研究懇談会（未着）
  - 講演会を3回（7月、第62年会会期中、10月か11月）、運営委員会を2回開催する。
- 14) レアメタル分析研究懇談会
  - 講演会を2回（6月及び第63年会中）、運営委員会1回（第63年会中）を開催する。また、必要に応じ他の研究懇談会との共催で講演会を開催する。なお、メーリングリストを利用して適宜情報交換を行う。
- 15) 熱分析研究懇談会
  - 講演会を2回（9月、第63年会会期中及び1月）開催予定。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。



16) 溶液反応化学研究懇談会(未着)  
講演会と運営委員会をそれぞれ1回(第63年会会期中)開催する。メーリングリストを活用し、情報交換を行う

17) 受託分析研究懇談会  
総会とセミナーを1回(11月)、運営委員会を3回開催する。会員獲得を図るために他の研究懇談会と交流を進める。

・支部において定款第5条の事業を次のとおり行う。

#### 【北海道支部】

1. 夏季研究発表会(7月)、冬季研究発表会(1月下旬または2月上旬)を開催する。
2. 化学教育研究協議会(11月上旬)を開催する。
3. 第30回分析化学緑陰セミナー(7月)、公開セミナー(9月)、第50回氷雪セミナー(1月上旬)を開催する。
4. 支部ニュース(7月、12月)を発行する。

#### 【東北支部】

1. 研究発表会:みちのく分析科学シンポジウム、平成26年度化学系学協会東北大会
2. 講演会:分析化学と化学分析の青森フォーラム2014(青森地区講演会)、福島地区講演会、各地区講演会
3. 講習会:材料評価技術セミナー
4. セミナー:分離機能とセンシング機能の化学セミナー2014、第15回機能構造と分析化学シンポジウム、平成26年度日本分析化学会東北・関東支部若手交流会、バイオナリシス2014のほか、外国人研究者による講演会などを随時開催する予定。

#### 【関東支部】

1. 講習会:第55回機器分析講習会、分析化学基礎実習講座を開催する。
2. 講演会:新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、新世紀賞講演会新年交流会のほか、随時開催する。
3. セミナー:分析化学若手交流会のほか、随時開催する。
4. 支部ニュースの発行ほか常任幹事会で必要と認められた事項を行う。

#### 【中部支部】

1. 研究発表会:第45回中部化学関係学協会支部連合秋季

大会(11月、中部大学)を共催の予定。

2. 講演会:愛知・岐阜・石川での地区講演会、及び訪日研究者講演会の開催を予定。
3. 講習会:第24回基礎及び最新の分析化学講習会(7月、名古屋工業大学)を開催の予定。
4. セミナー:第33回分析化学中部夏期セミナー(9月、富山県富山市)、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第14回高山フォーラム(11月、高山市図書館)を開催の予定。

#### 【近畿支部】

1. 講演会:支部講演会(4月、12月)、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会(3月)を開催の予定。
2. 講習会:ぶんせき講習会(基礎編その1、基礎編その2、実践編、発展編の4回)を開催予定
3. セミナー:提案公募型事業(随時)、第8回平成夏期セミナー「ぶんせき秘帖」(8月)を開催の予定。
4. 支部ニュースの発行(随時)

#### 【中国四国支部】

1. 講演会:中国四国支部分析化学講演会(3月14日、岡山)、岡山・広島・周南・山口・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会、外国人学者講演会を随時開催の予定。
2. 講習会:第51回分析化学講習会(8月頃、岡山)を開催の予定。
3. セミナー:第20回中国四国支部分析化学若手セミナー(7月または8月、高知)を開催の予定。
4. 日本分析化学会第63年会(9月)を実行委員会としてとり行う。

#### 【九州支部】

1. 研究発表会:第51回化学関連支部合同九州大会(6月)を開催の予定。
2. 講演会:第27回春の研究講演会(5月)、第32回夏季セミナー(7月)、支部講演会・見学会(11月)のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
3. 講習会:第55回分析化学講習会(8月)を開催の予定。
4. その他:地区懇話会、支部ニュースの発行などを行う予定。

以上

平成 25 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

(平成 26 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	99,819,169	111,585,415	△11,766,246
未 収 会 費	0	2,074,000	△2,074,000
未 収 購 読 料	0	225,717	△225,717
売 掛 金	7,324,420	9,305,415	△1,980,995
未 収 金	7,484,848	5,987,963	1,496,885
未 収 収 益	133,957	132,329	1,628
棚 卸 資 産	27,887,196	29,446,571	△1,559,375
貯 蔵 品	98,930	96,680	2,250
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前 払 金	2,369,457	3,791,561	△1,422,104
仮 払 金	251,977	201,624	50,353
流 動 資 産 合 計	145,569,874	163,047,195	△17,477,321
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
基 本 財 産 合 計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	76,303,005	76,327,173	△24,168
標 準 物 質 開 発 基 金	64,721,814	64,699,044	22,770
分 析 技 術 教 育 基 金	12,967,288	12,963,493	3,795
国 際 交 流 事 業 基 金	22,038,000	22,025,643	12,357
分 析 化 学 研 究 奨 励 基 金	8,370,364	8,368,411	1,953
預 り 保 証 金 引 当 預 金	11,000,000	11,000,000	0
支 部 研 究 懇 談 会 特 定 預 金	28,898,695	28,103,318	795,377
特 定 資 産 合 計	224,299,166	223,487,082	812,084
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	15,501,141	16,240,658	△739,517
器 具 備 品	218,312	368,206	△149,894
土 地	49,172,915	49,172,915	0
商 標 権	248,126	322,966	△74,840
ソ フ ト ウ ェ ア	1,356,036	2,432,479	△1,076,443
電 話 加 入 権	28,000	28,000	0
敷 金	100,000	100,000	0
長 期 貸 付 金	2,727,480	2,927,400	△199,920
そ の 他 固 定 資 産 合 計	69,352,010	71,592,624	△2,240,614
固 定 資 産 合 計	303,651,176	305,079,706	△1,428,530
資 産 合 計	449,221,050	468,126,901	△18,905,851

## 貸 借 対 照 表

(平成 26 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	6,601,410	11,404,104	△4,802,694
前 受 会 費	37,004,250	37,180,625	△176,375
前 受 購 読 料	4,543,667	5,109,833	△566,166
前 受 金	1,040,000	870,000	170,000
預 り 金	1,363,938	1,059,084	304,854
仮 受 金	782,425	49,500	732,925
賞 与 引 当 金	3,810,000	3,624,168	185,832
流 動 負 債 合 計	55,145,690	59,297,314	△4,151,624
2. 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	93,380,838	93,310,947	69,891
預 り 保 証 金	11,000,000	11,000,000	0
固 定 負 債 合 計	104,380,838	104,310,947	69,891
負 債 合 計	159,526,528	163,608,261	△4,081,733
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
民 間 補 助 金	0	0	0
指 定 正 味 財 産 合 計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一 般 正 味 財 産	289,694,522	304,518,640	△14,824,118
(うち基本財産への充当額)	0	△10,000,000	10,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	△136,159,909	136,159,909
正 味 財 産 合 計	289,694,522	304,518,640	△14,824,118
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	449,221,050	468,126,901	△18,905,851

## 貸借対照表内訳表

(平成26年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現 金 預 金	71,485,606	28,333,563	0	99,819,169
未 収 会 費	0	0	0	0
未 収 購 読 料	0	0	0	0
売 掛 金	7,324,420	0	0	7,324,420
未 収 金	0	7,484,848	0	7,484,848
未 収 収 益	133,957	0	0	133,957
棚 卸 資 産	27,887,196	0	0	27,887,196
貯 蔵 品	5,820	93,110	0	98,930
一年以内回収予定長期貸付金	0	199,920	0	199,920
前 払 金	2,369,457	0	0	2,369,457
仮 払 金	251,977	0	0	251,977
流 動 資 産 合 計	109,458,433	36,111,441	0	145,569,874
2. 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
定 期 預 金	0	10,000,000	0	10,000,000
基 本 財 産 合 計	0	10,000,000	0	10,000,000
(2) 特 定 資 産				
退 職 給 付 引 当 資 産	0	76,303,005	0	76,303,005
標 準 物 質 開 発 基 金	0	64,721,814	0	64,721,814
分 析 技 術 教 育 基 金	0	12,967,288	0	12,967,288
国 際 交 流 事 業 基 金	0	22,038,000	0	22,038,000
分 析 化 学 研 究 奨 励 基 金	8,370,364	0	0	8,370,364
預 り 保 証 金 引 当 預 金	0	11,000,000	0	11,000,000
支 部 研 究 懇 談 会 特 定 預 金	0	28,898,695	0	28,898,695
特 定 資 産 合 計	8,370,364	215,928,802	0	224,299,166
(3) そ の 他 の 固 定 資 産				
建 物	14,571,073	930,068	0	15,501,141
器 具 備 品	202,215	16,097	0	218,312
土 地	46,222,540	2,950,375	0	49,172,915
商 標 権	248,126	0	0	248,126
ソ フ ト ウ ェ ア	1,356,036	0	0	1,356,036
電 話 加 入 権	26,320	1,680	0	28,000
敷 金	94,000	6,000	0	100,000
長 期 貸 付 金	0	2,727,480	0	2,727,480
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	62,720,310	6,631,700	0	69,352,010
固 定 資 産 合 計	71,090,674	232,560,502	0	303,651,176
資 産 合 計	180,549,107	268,671,943	0	449,221,050

貸借対照表内訳表

(平成26年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	674,330	5,927,080	0	6,601,410
前受会費	18,601,021	18,403,229	0	37,004,250
前受購読料	4,543,667	0	0	4,543,667
前受金	1,040,000	0	0	1,040,000
預り金	748,042	615,896	0	1,363,938
仮受金	736,150	46,275	0	782,425
賞与引当金	3,124,200	685,800	0	3,810,000
流動負債合計	29,467,410	25,678,280	0	55,145,690
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	93,380,838	0	93,380,838
預り保証金	0	11,000,000	0	11,000,000
固定負債合計	0	104,380,838	0	104,380,838
負債合計	29,467,410	130,059,118	0	159,526,528
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
民間補助金	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
2. 一般正味財産	151,081,697	138,612,825	0	289,694,522
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
正味財産合計	151,081,697	138,612,825	0	289,694,522
負債及び正味財産合計	180,549,107	268,671,943	0	449,221,050

## 正味財産増減計算書

(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,580	6,599	△19
基本財産運用益	6,580	6,599	△19
特定資産運用益	326,617	481,064	△154,447
退職給付引当資産運用益	277,460	269,720	7,740
標準物質開発基金運用益	22,770	137,168	△114,398
分析技術教育基金運用益	3,795	5,985	△2,190
国際交流事業基金運用益	12,357	1,863	10,494
分析化学研究奨励基金運用益	1,953	56,681	△54,728
預り保証金引当預金運用益	3,300	4,028	△728
支部研究懇談会特定預金運用益	4,982	5,619	△637
受取入金会費	271,000	208,500	62,500
受取会費	97,321,748	87,015,875	10,305,873
正会員会費	33,953,383	37,993,850	△4,040,467
学生会員会費	2,066,000	2,887,675	△821,675
維持会員会費	22,266,775	18,296,050	3,970,725
特別会員会費	20,624,800	17,926,300	2,698,500
公益会員会費	11,173,500	9,912,000	1,261,500
支部研究懇談会会費	6,834,290	0	6,834,290
賛助会員会費	403,000	0	403,000
事業収益	158,906,552	186,111,649	△27,205,097
購読料収入	9,147,113	8,706,806	440,307
年会収入	11,048,549	11,691,799	△643,250
討論会収入	21,229,700	12,838,095	8,391,605
講演会収入	1,549,213	2,786,352	△1,237,139
講習会収入	22,294,323	33,032,171	△10,737,848
研究懇談会収入	3,211,680	9,755,500	△6,543,820
技能試験収入	8,723,839	9,845,000	△1,121,161
分析士事業収入	4,379,264	4,394,475	△15,211
S S収入	447,850	635,100	△187,250
印税収入	2,629,197	1,303,135	1,326,062
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,192,500	2,859,675	△667,175
標準物質頒布収入	26,706,745	31,623,180	△4,916,435
広告料収入	31,438,309	40,019,938	△8,581,629
別刷頒布収入	10,126,167	12,123,408	△1,997,241
複写権使用料収入	650,531	675,015	△24,484
技術情報交流会収入	0	1,129,000	△1,129,000
技能試験受託収入	2,440,000	1,995,000	445,000
J I S改正受託収入	691,572	698,000	△6,428
受取補助金等	12,409,286	8,825,403	3,583,883
受取民間補助金	5,709,286	1,350,000	4,359,286
受取国庫補助金	6,700,000	7,475,403	△775,403
受取寄附金	451,500	200,000	251,500
受取寄附金	451,500	200,000	251,500
雑収入	782,460	1,436,863	△654,403
受取利息	91,384	80,786	10,598
雑収入	691,076	1,356,077	△665,001
経常収益計	270,475,743	284,285,953	△13,810,210
(2) 経常費用			
事業費用	243,463,935	229,259,838	14,204,097
給料手当	49,491,363	50,642,526	△1,151,163
臨時雇賃金	9,640,840	10,652,669	△1,011,829
退職給付費用	57,311	0	57,311
法定福利費	8,797,098	8,174,645	622,453
会費	20,401,682	32,073,603	△11,671,921
旅費交通費	19,320,854	9,089,417	10,231,437
通信運搬費	9,890,558	10,975,175	△1,084,617
減価償却費	1,992,113	2,002,668	△10,555
消耗什器備品費(修繕費)	718,719	241,060	477,659
消耗品費	5,227,188	3,727,374	1,499,814

正味財産増減計算書

(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
印 刷 製 本 費	43,318,962	45,421,885	△2,102,923
光 熱 水 料 費	168,099	331,403	△163,304
賃 借 一 料	9,627,858	4,799,007	4,828,851
支 払 い 謝 料	9,960	0	9,960
保 険 料	35,764	5,538	30,226
諸 謝 金	10,992,578	10,470,810	521,768
租 税 公 課	3,795,325	3,667,684	127,641
支 払 い 負 担 金	2,350,390	172,000	2,178,390
支 払 い 寄 附 金	350,000	5,000	345,000
委 託 費	43,619,355	25,095,149	18,524,206
表 彰 費	2,557,347	2,686,204	△128,857
試 料 調 整 費	0	3,792,841	△3,792,841
支 払 い 手 数 料	0	14,806	△14,806
管 理 費	1,100,571	5,218,374	△4,117,803
給 料 手 賃 費	41,835,926	43,086,315	△1,250,389
臨 時 雇 賃 金	10,863,958	11,116,652	△252,694
退 職 給 付 費	2,432,340	0	2,432,340
法 定 福 利 費	12,580	0	12,580
福 厚 生 費	1,528,651	1,794,434	△265,783
旅 費 通 費	153,898	52,350	101,548
通 信 運 搬 費	403,582	0	403,582
減 価 償 却 費	4,847,826	7,742,837	△2,895,011
消 耗 品 費	825,516	2,247,927	△1,422,411
修 繕 費	50,366	127,830	△77,464
印 刷 製 本 費	155,338	1,522,449	△1,367,111
光 熱 水 料 費	1,022,881	1,755,150	△732,269
賃 借 一 料	170,592	2,390,626	△2,220,034
支 払 い 謝 料	288,612	122,574	166,038
諸 租 税 公 課	1,336,743	3,620,303	△2,283,560
支 払 い 負 担 金	1,274,960	0	1,274,960
委 託 費	71,609	436,284	△364,675
雑 費	12,850	0	12,850
	2,674,380	2,774,439	△100,059
	13,453,389	6,670,863	6,782,526
	255,855	711,597	△455,742
経 常 費 用 計	285,299,861	272,346,153	12,953,708
評価損益等調整前当期経常増減額	△14,824,118	11,939,800	△26,763,918
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△14,824,118	11,939,800	△26,763,918
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
退 職 給 付 引 当 金 戻 入 益	0	5,989,222	△5,989,222
経 常 外 収 益 計	0	5,989,222	△5,989,222
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	5,989,222	△5,989,222
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△14,824,118	17,929,021	△32,753,139
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	304,518,640	286,589,619	17,929,021
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	289,694,522	304,518,640	△14,824,118
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 補 助 金 等	0	6,900,000	△6,900,000
受 取 民 間 補 助 金	0	6,900,000	△6,900,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	0	△7,475,403	7,475,403
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	△575,403	575,403
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	575,403	△575,403
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	289,694,522	304,518,640	△14,824,118

正味財産増減計算書内訳表

(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	6,580	0	6,580
基本財産運用益	0	6,580	0	6,580
特定資産運用益	326,617	0	0	326,617
退職給付引当資産運用益	277,460	0	0	277,460
標準物質開発基金運用益	22,770	0	0	22,770
分析技術教育基金運用益	3,795	0	0	3,795
国際交流事業基金運用益	12,357	0	0	12,357
分析化学研究奨励基金運用益	1,953	0	0	1,953
預り保証金引当預金運用益	3,300	0	0	3,300
支部研究懇談会特定預金運用益	4,982	0	0	4,982
受取入金	1,000	270,000	0	271,000
受取会費	57,393,668	39,928,080	0	97,321,748
正会員会費	16,983,192	16,970,191	0	33,953,383
学生会員会費	1,033,000	1,033,000	0	2,066,000
維持会員会費	11,133,388	11,133,387	0	22,266,775
特別会員会費	15,420,048	5,204,752	0	20,624,800
公益会員会費	5,586,750	5,586,750	0	11,173,500
支部研究懇談会会費	6,834,290	0	0	6,834,290
賛助会員会費	403,000	0	0	403,000
事業収益	158,906,552	0	0	158,906,552
購読料収入	9,147,113	0	0	9,147,113
年会収入	11,048,549	0	0	11,048,549
討論会収入	21,229,700	0	0	21,229,700
講演会収入	1,549,213	0	0	1,549,213
講習会収入	22,294,323	0	0	22,294,323
研究懇談会収入	3,211,680	0	0	3,211,680
技能試験収入	8,723,839	0	0	8,723,839
分析士事業収入	4,379,264	0	0	4,379,264
S収入	447,850	0	0	447,850
印税収入	2,629,197	0	0	2,629,197
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,192,500	0	0	2,192,500
標準物質頒布収入	26,706,745	0	0	26,706,745
広告料収入	31,438,309	0	0	31,438,309
別刷頒布収入	10,126,167	0	0	10,126,167
複写権使用料収入	650,531	0	0	650,531
技術情報交流会収入	0	0	0	0
技能試験受託収入	2,440,000	0	0	2,440,000
J I S改正受託収入	691,572	0	0	691,572
受取補助金等	11,059,286	1,350,000	0	12,409,286
受取民間補助金	4,359,286	1,350,000	0	5,709,286
受取国庫補助金	6,700,000	0	0	6,700,000
受取寄附金	451,500	0	0	451,500
受取寄附金	451,500	0	0	451,500
雑収	443,686	338,774	0	782,460
受取利息	12,645	78,739	0	91,384
雑収入	431,041	260,035	0	691,076
経常収益計	228,582,309	41,893,434	0	270,475,743
(2) 経常費用				
事業費	243,463,935	0	0	243,463,935
給料手当	49,491,363	0	0	49,491,363
臨時雇賃金	9,640,840	0	0	9,640,840
退職給付費用	57,311	0	0	57,311
法定福利費	8,797,098	0	0	8,797,098
会費	20,401,682	0	0	20,401,682
旅費交通費	19,320,854	0	0	19,320,854
通信運搬費	9,890,558	0	0	9,890,558
減価償却費	1,992,113	0	0	1,992,113
修繕費	718,719	0	0	5,227,188



正味財産増減計算書内訳表

(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
消 耗 品 費	5,227,188	0	0	5,227,188
印 刷 製 本 費	43,318,962	0	0	43,318,962
光 熱 水 料 費	168,099	0	0	168,099
賃 借 一 料	9,627,858	0	0	9,627,858
支 払 い 謝 料	9,960	0	0	9,960
保 険 謝 料	35,764	0	0	35,764
諸 租 税 公 課	10,992,578	0	0	10,992,578
支 払 い 負 担 金	3,795,325	0	0	3,795,325
支 払 い 寄 附 金	2,350,390	0	0	2,350,390
支 払 い 託 彰 費	350,000	0	0	350,000
支 払 い 手 数 費	43,619,355	0	0	43,619,355
支 払 い 手 数 費	2,557,347	0	0	2,557,347
支 払 い 手 数 費	43,619,355	0	0	43,619,355
管 理 費	1,100,571	0	0	1,100,571
給 料 手 当	0	41,835,926	0	41,835,926
臨 時 雇 賃 金	0	10,863,958	0	10,863,958
退 職 給 付 費	0	2,432,340	0	2,432,340
法 定 福 利 費	0	12,580	0	12,580
福 厚 生 費	0	1,528,651	0	1,528,651
会 議 費	0	153,898	0	153,898
旅 費 交 通 費	0	403,582	0	403,582
通 信 運 搬 費	0	4,847,826	0	4,847,826
減 価 償 却 費	0	825,516	0	825,516
消 耗 品 費	0	50,366	0	50,366
修 繕 費	0	155,338	0	155,338
印 刷 製 本 費	0	1,022,881	0	1,022,881
光 熱 水 料 費	0	170,592	0	170,592
賃 借 一 料	0	288,612	0	288,612
支 払 い 謝 料	0	1,336,743	0	1,336,743
諸 租 税 公 課	0	1,274,960	0	1,274,960
支 払 い 負 担 金	0	71,609	0	71,609
支 払 い 託 彰 費	0	12,850	0	12,850
支 払 い 託 彰 費	0	2,674,380	0	2,674,380
支 払 い 託 彰 費	0	13,453,389	0	13,453,389
支 払 い 託 彰 費	0	255,855	0	255,855
経 常 費 用 計	243,463,935	41,835,926	0	285,299,861
評価損益等調整前当期経常増減額	△14,881,626	57,508	0	△14,824,118
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△14,881,626	57,508	0	△14,824,118
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付引当金戻入益	0	0	0	0
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	△131,245,355	131,245,355	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△146,126,981	131,302,863	0	△14,824,118
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	297,208,678	7,309,962	0	304,518,640
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	151,081,697	138,612,825	0	289,694,522
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	151,081,697	138,612,825	0	289,694,522

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

前年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)  
器具備品…定率法を採用している。  
無形固定資産  
ソフトウェア・商標権…定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。  
退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜き方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定 期 預 金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特 定 資 産				
退職給付引当資産	76,327,173	11,832	36,000	76,303,005
標準物質開発基金	64,699,044	21,770	0	64,721,814
分析技術教育基金	12,963,493	3,795	0	12,967,288
国際交流事業基金	22,025,643	12,357	0	22,038,000
分析化学研究奨励基金	8,368,411	1,953	0	8,370,364
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	28,103,318	1,580,156	784,779	28,898,695
小 計	223,487,082	1,631,863	820,779	224,299,166
合 計	233,487,082	1,631,863	820,779	234,299,166

## 財務諸表に対する注記

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	—	(10,000,000)	—
小 計	10,000,000	—	(10,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	76,303,005	—	—	(76,303,005)
標準物質開発基金	64,721,814	—	(64,721,814)	—
分析技術教育基金	12,967,288	—	(12,967,288)	—
国際交流事業基金	22,038,000	—	(22,038,000)	—
分析化学研究奨励基金	8,370,364	—	(8,370,364)	—
預り保証金引当預金	11,000,000	—	—	(11,000,000)
支部研究懇談会特定預金	28,898,695	—	(28,898,695)	—
小 計	224,299,166	—	(136,996,161)	(87,303,005)
合 計	234,299,166	—	(146,996,161)	(87,303,005)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	62,107,932	46,606,791	15,501,141
器 具 備 品	6,147,413	5,929,101	218,312
合 計	68,255,345	52,535,892	15,719,453

### 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
第 88 回 利 付 国 債 (5 年)	60,039,000	60,270,000	231,000
合 計	60,039,000	60,270,000	231,000

### 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
民間補助金						
科学研究費補助金	(独) 日本学術振興会	0	6,700,000	6,700,000	0	
先端分析技術賞補助金	(一社) 日本分析機器工業会	0	900,000	900,000	0	
先端分析技術賞補助金	(一財) 化学物質評価研究機構	0	450,000	450,000	0	
放射能標準物質開発	(学) 根津育英会	0	136,500	136,500	0	
合 計		0	8,186,500	8,186,500	0	

### 7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

該当事項はありません

注) 前期に記載された科学研究費補助金は当期末首残高・期末残高がなく、かつその目的に沿って使いきっているため、当期は簡便な処理によっております。

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞 与 引 当 金	3,624,168	3,810,000	3,624,168	0	3,810,000
退職給付引当金(注)	93,310,947	69,891	0	0	93,380,838

(会計方針の変更)

1. 当期より消費税等の会計処理を税抜方式に変更しております。

①変更の理由

当期において公益会計市販ソフトのカスタム化を行い、入力時の税抜処理が可能となったこと。また、時期以降期中に消費税率の変更が予定されており、発生時に正確な消費税の計算が特に期待されるためであります。

②当該変更による一般正味財産増減額への影響は軽微であります。

2. 当期より未収会費・未収購読料の計上を取り止めております。

①変更の理由

前期までの未収会費・未収購読料の計上においては、個々の会員の滞留状況を一切考慮せず、未収会員数に会費を乗じその2/12を掛けたものを算出するものであります。このため、当会規程により強制退会される方の未収も含まれ過大であり、期末評価の合理的な見積額と言えませんでした。当期より保守主義の観点から資産計上を取り止めたものであります。

②変更による財務諸表への影響は、以下のとおりであります。

- ・未収会費が従来と同様の方法によった場合より1,593,600円減少しております。
- ・未収購読料が従来と同様の方法によった場合より78,250円減少しております。
- ・当期受取会費が従来と同様の方法によった場合より1,593,600円、事業収益購読料収入が74,524円それぞれ減少し経常収益計・当期計上増減額当期一般正味財産増減額がそれぞれ1,668,124円それぞれ悪化しております(消費税等の租税公課費用による影響を除く)。

3. 従来、事業収益に計上しておりました研究懇談会収入の内、明確に懇親会参加費ならびにミキサー参加費として集められた収入は、今期より会議費と相殺しております。

①変更の理由

懇親会参加費ならびにミキサー参加費は、参加者の意図から明らかに当該交流会の参加実費として徴収されたものであります。また、当会の最大の討論会ならびに年会の実績に鑑み収入額と費用額はほぼ一致しております。また、この相殺処理により懇親会等参加者と不参加者に対する不公平を防ぐ意義があると判断いたしました。

②当該変更による正味財産増減額は、軽微であります。

## 財 産 目 録

(平成 26 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金			1,607,740
預金	普通預金	運転資金として	76,171,915
	三井住友銀行五反田支店	本部	26,536,190
	三井住友銀行新宿支店	本部	4,699,094
	みずほ銀行五反田支店	本部	3,896,417
	三菱 UFJ 銀行五反田支店	本部	351,271
	三菱 UFJ 銀行五反田支店	東京コンファレンス	648,251
	秋田銀行手形支店	若手の会	178,730
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	2,568,963
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	716,420
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	9,332,377
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	2,016,168
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	4,988,902
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,989,386
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	406,035
	福岡銀行姪浜支店	フローインジェクション分析研究懇談会	1,960,891
	三菱 UFJ 銀行網島支店	化学センサー研究懇談会	261,929
	福岡銀行周船寺支店	分析試薬研究懇談会	245,577
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,427,597
	りそな銀行五反田支店	X 線分析研究懇談会	1,606,946
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	5,650,079
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	3,659,750
	群馬銀行桐生支店	環境分析研究懇談会	929,637
	東邦銀行福島医大病院支店	電気泳動分析研究懇談会	536,256
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,331,408
	三菱東京 UFJ 銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	80,928
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	11,898
	三菱東京 UFJ 銀行西院支店	受託分析研究懇談会	140,815
	ゆうちょ銀行 (口座振替)	運営資金として	10,283,531
		本部	8,302,882
		大会口	37,000
		環境分析研究懇談会	342,733
		有機微量分析研究懇談会	13,805
		レアメタル分析研究懇談会	22,200
		表示・起源分析技術研究懇談会	1,439,231
		溶液反応化学研究懇談会	5,773
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	119,907
	ゆうちょ銀行 (通常貯金)		4,413,179
		本部	888,852
		九州支部	2,187,087
		有機微量分析研究懇談会	686,205
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,000
		フローインジェクション分析研究懇談会	650,035
	定期預金	運転資金として	7,342,804
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	505,554
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,262,906
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,274,344
売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業で販売している商品に対する未収額	7,324,420
未収金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷, 雑誌に掲載している広告料に対する未収額	7,484,848
未収収益	第 88 回利付国債 (5 年) の未収利息	退職給付引当資産に係る有価証券の未収利息	133,957
棚卸資産	会誌, 標準物質, 教育ビデオ, 教育 DVD	公益目的事業で販売している商品	27,887,196

財 産 目 録

(平成 26 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	貯蔵品	切手、印紙、はがき、図書カード	公益目的事業及び法人の管理業務で使用している。	98,930
	一年以内回収予定 長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	199,920
	前払金	翌年度の討論会経費、会員管理システム利用料の前払額	翌年度討論会経費、会員管理システム利用料他	2,369,457
	仮払金	労働保険料	職員に対するもの	251,977
流動資産合計				145,569,874
(固定資産)				
基本財産	預金	定期預金 中央三井信託銀行芝営業部	運用益を管理費の財源として使用している	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 みずほ銀行五反田支店	職員の退職金の支払いのために使用している	1,263,808
		定期預金 みずほ銀行五反田支店		15,000,197
		投資有価証券 大和証券五反田支店	満期保有目的で保有し、運用益を退職金の支払の財源として使用している	60,039,000
	標準物質開発基金	普通預金 三井住友銀行五反田支店	標準物質開発事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している	5,746,050
		定期預金 三井住友銀行五反田支店		50,000,000
		MMF 大和証券五反田支店		8,975,764
	分析技術教育基金	普通預金 三井住友銀行五反田支店	講演会事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している	2,967,288
		定期預金 三井住友銀行五反田支店		10,000,000
	国際交流事業基金	普通預金 三井住友銀行五反田支店	研究会事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している	881,655
		定期預金 三井住友信託銀行芝営業部		21,156,345
	分析化学研究奨励基金	定期預金 三井住友信託銀行芝営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究の奨励及び研究業績の表彰事業の財源として使用している	8,370,364
	預り保証金引当預金	定期預金 三井住友銀行五反田支店	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金であり、運用益を本事業の財源として使用している	10,000,000
		定期預金 三井住友銀行五反田支店	標準物質の販売で西進商事(株)で受け入れた預金であり、標準運用益を本事業の財源として使用している	1,000,000
	支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している	
		普通預金 北洋銀行本店営業部	北海道支部	282,801
		七十七銀行大学病院前支店	東北支部	5,514,522
		みずほ銀行名古屋支店	中部支部	5,173,934
		りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	2,301,252
		三菱東京 UFJ 銀行	フローインジェクション分析研究懇談会	838,188
		もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	2,019,171
		定期預金 みずほ銀行五反田支店	関東支部	3,012,013
		武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	2,412,886
		りそな銀行五反田支店	X線分析研究懇談会	2,326,635
		りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,997,221
		りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	3,020,072

## 財 産 目 録

(平成 26 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(固定資産) その他 固定資産	建物	282.8 m <sup>2</sup> 東京都品川区西五反田 1-26-2	15,501,141
	器具備品	東京都品川区西五反田 1-26-2	218,312
	土地	38.78 m <sup>2</sup> 東京都品川区西五反田 1-26-2	49,172,915
	商標権	Anal.Sci. 誌、ぶんせき、分析化学	248,126
	ソフトウェア	AS 論文投稿受付システム、技能 試験受付システム	1,356,036
	電話加入権	3490-3351 他 6 本	28,000
	敷金	近畿支部	100,000
	長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	2,727,480
固定資産合計			303,651,176
資 産 合 計			449,221,050
(流動負債)	未払金	環境テクノス(株)	6,601,410
	前受会費	翌年度の会費の前受額	37,004,250
	前受購読料	翌年度の購読料の前受額	4,543,667
	前受金	高分子分析研究懇談会	1,040,000
	預り金	源泉所得税 他	1,363,938
	仮受金	分析試験に対する	782,425
	賞与引当金	職員 8 名の夏期賞与	3,810,000
	流動負債合計		
(固定負債)	退職給付引当金	職員 8 名の退職金	93,380,838
	預り保証金	(株)明報社	10,000,000
		西進商事(株)	1,000,000
固定負債合計			104,380,838
負 債 合 計			159,526,528
正 味 財 産			289,694,522

# 監事監査報告書

平成26年4月25日

公益社団法人日本分析化学会  
会長 寺前 紀夫 殿

公益社団法人日本分析化学会

監事 今坂藤太郎  
監事 法川雅美

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの平成25年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規定第7条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人から業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、平成25年度事業報告書を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

## 2. 監査結果

- 一、事業報告書は、法令及び定款に従い、当公益社団法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当公益社団法人の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



平成 26 年度 予算書

(平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,000	50,000	△44,000
基本財産受取利息	6,000	50,000	△44,000
特定資産運用益	344,000	530,000	△186,000
退職給付引当資産	300,000	350,000	△50,000
標準物質開発基金	20,000	150,000	△130,000
国際交流事業基金	10,000	10,000	0
分析化学研究奨励基金	2,000	15,000	△13,000
分析技術教育基金	4,000	5,000	△1,000
預り保証金引当預金	3,000	0	3,000
支部研究懇談会特定預金	5,000	0	5,000
受取入金会金	400,000	200,000	200,000
受取入金会金	400,000	200,000	200,000
受取会費	95,400,000	84,900,000	10,500,000
正会員受取会費	34,000,000	60,950,000	△26,950,000
学生会員受取会費	2,000,000	1,200,000	800,000
維持会員受取会費	22,000,000	8,500,000	13,500,000
特別会員受取会費	20,000,000	8,500,000	11,500,000
公益会員受取会費	10,000,000	5,750,000	4,250,000
支部研究懇談会受取会費	7,000,000	0	7,000,000
賛助会員受取会費	400,000	0	400,000
事業収益	160,600,000	172,308,000	△11,708,000
購読料収入	10,500,000	8,900,000	1,600,000
年会収入	11,000,000	15,000,000	△4,000,000
討論会収入	20,000,000	12,853,000	7,147,000
講演会収入	1,500,000	690,000	810,000
講習会収入	20,000,000	28,755,000	△8,755,000
研究懇談会収入	3,000,000	9,638,000	△6,638,000
技能試験収入	9,000,000	10,800,000	△1,800,000
分析士事業収入	4,000,000	4,800,000	△800,000
S S 収入	400,000	700,000	△300,000
印税収入	2,600,000	1,924,000	676,000
教材頒布収入	1,000,000	2,000,000	△1,000,000
標準物質収入	26,000,000	27,800,000	△1,800,000
広告料収入	31,000,000	34,090,000	△3,090,000
別刷頒布収入	10,000,000	11,060,000	△1,060,000
複写権使用収入	800,000	600,000	200,000
技能試験受託収入	2,400,000	2,000,000	400,000
J I S 改正受託収入	0	698,000	△698,000
事務委託収入	7,400,000	0	7,400,000
受取補助金等	5,850,000	7,920,000	△2,070,000
受取国庫補助金	0	6,570,000	△6,570,000
受取民間補助金	5,850,000	1,350,000	4,500,000
受取寄付金	400,000	200,000	200,000
受取寄付金	400,000	200,000	200,000
雑収益	750,000	1,311,000	△561,000
受取利息収入	90,000	245,000	△155,000
雑収入	660,000	1,066,000	△406,000
経常収益計	263,750,000	267,419,000	△3,669,000
(2) 経常費用			
事業費	254,660,000	241,513,000	13,147,000
給与手当	54,400,000	48,790,000	5,610,000
臨時雇賃金	9,700,000	9,009,000	691,000
退職給付費用	60,000	0	60,000
法定福利費	9,700,000	5,986,000	3,714,000
会議費	20,900,000	29,451,000	△8,551,000
旅費交通費	20,500,000	15,101,000	5,399,000
通信運搬費	10,500,000	9,490,000	1,010,000

平成 26 年度 予算書

(平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
減価償却費	2,000,000	1,928,000	72,000
消耗品費	5,000,000	5,785,000	△785,000
修繕費	600,000	0	600,000
印刷製本費	45,000,000	47,902,000	△2,902,000
光熱水料費	200,000	329,000	△129,000
賃借料	9,700,000	8,279,000	1,421,000
支払リース料	10,000	0	10,000
支払保険料	40,000	0	40,000
諸謝金	11,000,000	10,581,000	419,000
租税公課	6,000,000	1,950,000	4,050,000
支払負担金	2,350,000	0	2,350,000
支払助成金	350,000	380,000	△30,000
委託彰費	43,000,000	41,734,000	1,266,000
表費	2,550,000	3,253,000	△703,000
雑費	1,100,000	1,565,000	△465,000
管 理 費	41,830,000	30,826,000	11,004,000
給与手当	12,000,000	10,710,000	1,290,000
臨時雇賃金	6,000,000	0	6,000,000
退職給付費用	120,000	0	120,000
法定福利費	1,700,000	1,314,000	386,000
福利厚生費	100,000	20,000	80,000
会議費	500,000	0	500,000
旅費	5,000,000	35,000	4,965,000
通信運搬費	1,000,000	2,200,000	△1,200,000
減価償却費	100,000	123,000	△23,000
消耗品費	200,000	420,000	△220,000
修繕費	1,000,000	1,750,000	△750,000
印刷製本費	200,000	800,000	△600,000
光熱水料費	300,000	122,000	178,000
賃借料	1,300,000	2,450,000	△1,150,000
支払リース料	1,300,000	0	1,300,000
諸謝金	100,000	0	100,000
租税公課	10,000	0	10,000
支払負担金	2,600,000	3,516,000	△916,000
委託費	8,000,000	7,153,000	847,000
雑費	300,000	213,000	87,000
経常費用計	296,490,000	272,339,000	24,151,000
評価損益調整前当期増減額	△32,740,000	△4,920,000	△27,820,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△32,740,000	△4,920,000	△27,820,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△32,740,000	△4,920,000	△27,820,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△32,740,000	△4,920,000	△27,820,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	△32,740,000	△4,920,000	△27,820,000

2014 年度第 1 回理事会

4 月 25 日 (金) 13 時より本会会議室で開催 (出席者: 寺前会長ほか 17 名)

承認事項 (審議事項を含む): 前回理事会議事録の確認, 永年会員推薦の件, 小熊幸一氏との参与契約に関する件, 年会・討論会の開催順序の件, 2014~2015 年度理事候補者の件, 2013 年度事業報告の件, 2013 年度会計報告及び監査報告の件, 2014 年度予算案の一部修正の件, 役員等の選出手順要項の一部修正の件, 役員等候補者推薦委員会委員委嘱及び同委員会の書面による開催の件, 第 1 回本部支部連絡会議・研究懇談会委員長会議開催の件, 2013 年度理事会への送り事項の件, 2014 年度女性研究者ネットワーク活動の件, 近畿支部若手基金への繰入金の件, 職員に関する件, 「分析化学」論文賞の授賞式会場の件, 第 63 年会における特別シンポジウム, アジア分析科学シンポジウム, Analytical Sciences 編集委員の追加委嘱, X-ray Structure Analysis Online の世界結晶年への協賛特集, LC/MS, LC/MS/MS の基礎と応用 (仮称) (オーム社) の本会編での出版の件, 標準物質の在庫の件, 標準物質委員会並びに技能試験委員会委員委嘱の件, 研究成果展開事業 (先端計測分析技術・機器開発プログラム) 平成 26 年度開発課題「放射能環境標準物質の開発」への参画の件, 本会の JIS 取り組み状況, 会費滞納会員の件, 会員入・退会の件, 英語版 website に関する件, 他学協会からの共催等名義申請の件, その他の各件。なお, 特別会員: 三浦工業(株), 東亜薬品(株), 味の素(株)食品事業本部 食品研究所, ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング(株), (株)イオ, 正・学生会員: 下表の入会が承認された。

新入会の正会員・学生会員

氏名	所属	紹介者
<b>【北海道支部】</b>		
久保 勘二	北海学園大学工学部	(阿部 健一)
飯島 瑞貴	北見工業大学	(兼清 泰正)
岸 和樹	北海道大学	(山田 幸司)
サクテイ サティアチャンドラウィバ		
	北海道大学大学院地球環境科学研究科	(三原 義広)
櫻井 祥平	北海道大学	(阿部 健一)
<b>【東北支部】</b>		
篠田 弘造	東北大学多元物質科学研究所	(阿部 健一)
富塚 利枝	イーエヌ大塚製薬(株)	(阿部 健一)
沼田 靖	日本大学工学部	(平山 和雄)
阿部 未奈	山形大学工学部	(遠藤 昌敏)
市瀬 博一	山形大学工学部	(水口 仁志)
梅野 杏子	秋田大学工学資源学部	(藤原 一彦)
桑原 幸穂	秋田大学工学資源学部	(阿部 健一)
佐々木菊康	東北大学金属材料研究所	(阿部 健一)
進藤 嵩史	日本大学工学部	(阿部 健一)
須貝 直樹	山形大学工学部	(遠藤 昌敏)
瀧内 伸	いわき明星大学	(佐藤 健二)
細川 雄貴	弘前大学理工学部	(糠塚いそし)
松枝 誠	福島大学	(阿部 健一)
三浦 拓也	山形大学大学院理工学研究科	(遠藤 昌敏)
宮田 隆典	北日本電線(株)	(阿部 健一)
宗形 賢介	山形大学工学部	(遠藤 昌敏)
山中 佑太	山形大学工学部/大学院理工学研究科	(遠藤 昌敏)
<b>【関東支部】</b>		
岩本 美和	北里大学生命科学研究所	(阿部 健一)
大沼 弘志	埼玉県警察本部	(中山 裕明)
大山 富生	ディーエスエムジャパンエンジニアリングプラス	
	チックス(株)	(阿部 健一)
岡本 芳浩	(株)日本原子力研究開発機構	(阿部 健一)
川畑 葉子	シチズンホールディングス(株)	(阿部 健一)
酒井 和広	アジレント・テクノロジー・インターナショナル(株)	(高橋 純一)
柴田 博信	三菱電機(株)	(阿部 健一)

杉山 真悟	味の素製菓(株)	(近藤 淳一)
鈴木 健治	月島機械(株)	(阿部 健一)
須藤 麻子	星光 PMC (株)	(阿部 健一)
田上 恵子	(株)放射線医学総合研究所	(阿部 健一)
武村 勝則	三井金属鉱業(株)	(小野 浩)
田中 和幸	(株)鹿光生物科学研究所	(阿部 健一)
谷川 建一	(株)日立ハイテクソリューションズ	(阿部 健一)
土戸 優志	上智大学理工学部	(阿部 健一)
戸井田昌宏	埼玉医科大学保健医療学部	(阿部 健一)
中當 寛	(株)ケムコ	(阿部 健一)
中本 有美	第一三共(株)	(阿部 健一)
西川 法明	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	(阿部 健一)
平田江里加	ライオン(株)	(阿部 健一)
本田 数博	神奈川工科大学応用化学科	(阿部 健一)
光岡 広樹	興和(株)	(阿部 健一)
吉川 元起	(株)物質・材料研究機構	(阿部 健一)
浅野 夏海	東邦大学	(平山 直紀)
井口 敦史	明治大学理工学部	(中村 利廣)
石川 英和	芝浦工業大学工学部	(正留 隆)
猪股 尚也	神奈川大学理学部	(西本 右子)
内谷 徳宏	芝浦工業大学工学部	(正留 隆)
江口 浩晃	神奈川大学理学部	(西本 右子)
加藤 大喜	筑波大学	(阿部 健一)
唐澤悠一郎	千葉大学	(阿部 健一)
小池 彩佳	新潟大学理学部	(阿部 健一)
木暮 風太	日本大学理工学部	(阿部 健一)
小日置達哉	明治大学大学院	(中村 利廣)
坂本 達弥	東邦大学	(阿部 健一)
佐々木雅弥	茨城大学理工学研究科	(五十嵐淑郎)
武井 智彦	千葉大学	(阿部 健一)
巽 正樹	明治大学理工学部	(中村 利廣)
長島 隆貴	日本大学理工学部	(阿部 健一)
根岸 弘行	千葉大学	(阿部 健一)
葉山 純平	明治大学理工学研究科	(中村 利廣)
平尾 将崇	東京理科大学理学部	(阿部 健一)
三森 智希	山梨大学工学部	(植田 郁生)
森 美紗樹	中央大学大学院理工学研究科	(阿部 健一)
森 宥貴子	東京薬科大学生命科学部	(梅村 知也)
山本 夏樹	山梨大学工学部	(川久保 進)
米田 真吾	東洋大学生命科学部	(阿部 健一)
和田 悠平	東京理科大学	(阿部 健一)
<b>【中部支部】</b>		
今井 勉	上田石灰製造(株)	(相籾 茂)
神谷 大貴	科研製菓(株)	(阿部 健一)
荻野 匡	金沢大学大学院自然科学研究科	(阿部 健一)
叶 艶	金沢大学	(阿部 健一)
小泉 尚登	金沢大学大学院自然科学研究科	(阿部 健一)
中野 達基	静岡県立大学	(阿部 健一)
中村 聡志		(阿部 健一)
<b>【近畿支部】</b>		
上地里佳枝	小林製菓(株)	(阿部 健一)
川端 光彦	(株)新日本科学	(阿部 健一)
北村 卓也	三菱樹脂(株)	(阿部 健一)
澤井 一喜	朝日化学工業(株)	(阿部 健一)
徳永 隆司	住友化学(株)	(岡本 昌彦)
豊田 岐聡	大阪大学大学院理学研究科	(阿部 健一)
久原 丈司	(株)マンダム	(阿部 健一)
増 岳浩	富士チタン工業(株)	(阿部 健一)
吉岡 剛志	(公財)高輝度光科学研究センター	(阿部 健一)
岡田 融	兵庫県立大学大学院工学研究科	(阿部 健一)
門 貴美子	大阪教育大学教育学部	(阿部 健一)
佐野 友樹	甲南大学大学院	(阿部 健一)
嶋田 優香	大阪薬科大学	(阿部 健一)

曾 采薇	関西学院大学理工学研究科	(阿部 健一)
高村 真子	大阪薬科大学	(阿部 健一)
立美美沙紀	近畿大学	(阿部 健一)
田中 裕人	関西学院大学理工学部	(阿部 健一)
田淵 由莉	大阪市立大学	(辻 幸一)
東川 昇平	大阪薬科大学	(阿部 健一)
中戸 秀樹	日本分析化学専門学校	(阿部 健一)
南部 啓太	兵庫県立大学大学院工学研究科	(阿部 健一)
古川 大貴	関西学院大学	(阿部 健一)
北東 俊輝	兵庫県立大学大学院物質理学研究科	(阿部 健一)
前野 権一	大阪府立大学工学部	(遠藤 達郎)
村山健太郎	兵庫県立大学大学院	(阿部 健一)
安野 恒喜	神戸大学大学院海事科学研究科	(阿部 健一)
山田 貴之	大阪大学大学院工学研究科	(阿部 健一)
山梨 眞生	大阪市立大学大学院工学研究科	(辻 幸一)
山本 靖之	大阪府立大学ナノ科学・材料研究センター	(飯田 琢也)
吉川 貴康	大阪府立大学	(飯田 琢也)

【中部四国支部】

金嶋 祥子	(株)林原	(阿部 健一)
越上 誠	帝國製薬(株)	(阿部 健一)
寺本 寿文	アルフレッサ ファーマ(株)	(野上 和樹)
成瀬 憲政	三菱化学(株)	(阿部 健一)
橋本 知子	(株)酒類総合研究所	(阿部 健一)
百瀬 陽	三菱レイヨン(株)	(大谷 肇)
栗崎 愛子	岡山理科大学	(阿部 健一)
未見 祐哉	徳島大学大学院総合科学教育部	(今井 昭二)

【九州支部】

脇川 憲吾	福岡県警察本部科学捜査研究所	(阿部 健一)
大山 翼	九州大学大学院薬学府	(浜瀬 健司)
尾花 侑亮	福岡大学理学部	(栗崎 敏)
重富あずさ	鹿児島大学	(阿部 健一)
竹中 文紀	九州工業大学工学部	(竹中 繁織)
永利 朋之	福岡大学大学院理学研究科	(山口 敏男)
福島由利佳	福岡大学理学部	(吉田 亨次)

外園 寿宗	鹿児島大学理工学研究科	(富安 卓滋)
楊 希翔	九州大学工学府	(阿部 健一)
劉 蓉	九州大学	(阿部 健一)

【会員訃報】

名誉会員 今枝一男、永年会員 岡本潤一、伊藤三夫、正会員 伊東 健、菊地 正各氏の逝去の報に接しました。本会はこちらに謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

第3回定時総会

開催日と場所

5月16日(金)11時より、東京都品川区西五反田1丁目32番2号、五反田文化会館第一会議室において開催した。

出席者

定款第15条の構成員総数122名中、出席者は106名あり、定款第21条の定足数に達し、本総会は成立した。

議長

定款第19条により寺前会長が議長を務め、議事録署名名人(村松輝夫、山口 央)を指名して次の審議を行った。

第1号議案 2013年度事業報告及び決算報告承認の件

紀本副会長より原案(本号会報参照)について説明があり、続いて今坂監事より監査について証言があった。

第2号議案 2014～2015年度役員選任の件

寺前会長より役員選任について説明があった。

第3号議案 2014年度事業計画及び収支予算承認の件

紀本副会長より原案(本号会報参照)について説明があった。

第5号議案 永年会員推薦の件

寺前会長より、寺谷義麿、村井重夫、齋藤紘一、小熊幸一、矢野良子、広瀬 恢、田中 稔、小田嶋次勝、大道寺英弘、山根 兵、庄籠徹也、松村泰治、渡辺訓行、島田和武、山田碩道、松島美一、藤枝修子、高館 明、脇田久伸、長谷川佑子各氏(順不同)を永年会員に推薦したい旨説明があった。

以上について審議を行った結果、それぞれ満場一致で可決し、第3回定時総会を閉会した。